

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年8月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672700095
法人名	医療法人 蒼風会
事業所名	高齢者グループホームりんどう
所在地	鹿児島県南九州市川辺町平山6910番地 (電話) 0993-56-4976
自己評価作成日	令和5年6月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年8月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年23年目を迎えたグループホームです。母体は精神科病院で認知症高齢者への医療連携がとれています。
りんどう近隣は商店街. 市役所. 郵便局. 図書館. 消防署と利便性が高い。自治会に加入しており地域交流に繋げている。
各部屋にトイレ、洗面所、クローゼットが設置され、またバリアフリー対応の広いホールで生活をされています。
コロナ禍で令和4年7月より感染対策のため、陰圧機が設備されたプレハブの面会室が設置され安心して面会ができる環境が整っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は旧川辺町の中心部に立地し、支所にも近い日頃から気軽に相談等で訪れる等、行政との連携協力関係が築かれている。民生委員会からの依頼で管理者はグループホームについての講演を行い、事業所の力を活かした地域貢献にも取り組んでいる。
- ・運営母体の医療機関と定期受診や看護師の訪問・緊急時対応を含めた24時間の医療連携体制が整い、職員も専門的な助言を受けてケアに当たっていることから、本人・家族の安心となっている。
- ・管理者は、朝の申し送り時にゆっくり職員と話し合う時間を設けて、情報の共有や意見を聞き、円滑な運営ができるようにしている。
- ・法人及び管理者は、職員の事情等にも配慮し法人内異動も含めて働き続けられる就業環境に取り組んでおり、全員が5年以上の勤務となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を意識できるように玄関等に掲示し、唱和を行い実践に繋がっている。	理念は玄関・トイレ等に掲示するとともにパンフレットにも掲載している。朝礼時に唱和し確認して実践に繋がっており、朝の申し送りや部署会議でケアの振り返りを行なっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で以前の様な交流はできなかったが自治会に加入しており回覧板で地域の情報を得て、近隣の方より手作りの野菜、果物を頂く交流は続いている。	自治会に加入しており、回覧板で地域の情報を得ている。コロナ禍のため地域行事への参加は控えているが、町の行事の二日市は、玄関にちんどん屋さんが訪問し利用者を楽しませてくれた。中庭の散歩で地域住民と挨拶を交わしたり、野菜や果物の差し入れ等の交流は大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍で難しいところはあったが、昨年地域の方々に向けてグループホームについての講演を行った。依頼のあった民生委員の方との連絡は続けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ禍で書面での開催が続いた。直接話し合う機会が少なかったが、郵送や電話でやり取りをし、改善に向けている。</p>	<p>コロナ禍のため昨年度は書面開催となり、資料を郵送した後に電話等で意見交換を行っている。行政から写真を含めた具体的資料提出のアドバイスがあり、事業所活動への理解を深めてもらえるように報告書を見直し、改善に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の際に報告や相談をし、助言頂き、メールでの情報提供やZOOMでの参加を通じて行政担当者と連携を築いている。</p>	<p>支所の担当者とは日頃からこまめに相談・報告を行う等、協力関係を築いている。運営推進会議や福祉事務所担当者の来訪時の意見交換で連携を図っている。オンラインの研修会に参加し情報収集にも努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束適正化委員会への参加、身体拘束に関する学習会を開催している。玄関等の施錠もなく、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束適正化委員会を運営推進会議を兼ねて2ヶ月毎に実施している。指針を作成しており、学習会を年2回事業所独自でテーマを決め勉強会をしている。日中の玄関の施錠はせずに、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	eラーニングでの勉強会参加や部署会での話し合い、日頃から意識し防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	1名日常生活自立支援事業を利用されており理解している。成年後見制度についてはeラーニングを活用し学ぶ機会をもっている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時、重要事項説明を行い、不安なこと疑問点がある時は丁寧に説明をしトラブルにならないよう理解、納得を図っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	意見箱を設置したり、来所時や電話の時、また家族通信で意見を頂き運営に反映できるように努めている。	利用者間や職員との会話から要望を把握している。家族には電話や面会時等に聞いており、要望等はミーティング時に職員間で共有し、意見等を反映できるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>法人の管理会議で意見、提案ができる機会や、何でも提案書を活用し部署会等で反映できるようにしている。</p>	<p>管理者は部署会議やミーティング等で職員の意見を聞く機会を設けており、「何でも提案書」を活用して会議で検討し反映できるように努めている。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的な昇給、資格手当等があり、個人のレベルアップに繋がられる環境である。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>eラーニングでの勉強会や法人の回覧で各種研修の情報提供もあり、研修を受けることを進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍により交流の機会が減少されているが、電話等で情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の思いを理解し、今までの生活状況を情報収集し、安心して生活できるよう関係性を確保しながら支援に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の状況も理解し思い不安なこと困りごとを受け取り話せる関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、ご家族からおもいを聞き取り、支援内容、課題検討し対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活のリズムを把握しながら、出来ることを行っただき、共同生活の中で共に支え合い、役に立っている実感がもてる関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族に配慮しながら、運営推進会議の報告も兼ねて家族通信（写真送付）電話、テレビ電話等で状況報告し、共に支えている姿勢に努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>予約をとり感染対策をしながら馴染みの美容室、理髪店を利用できるように支援をしている。</p>	<p>面会室での交流や事業所から家族通信を送付してラインや動画で家族関係を維持し、家族との関係が途切れないように努めている。馴染みの理美容院の予約利用や職員同行の墓参り・自宅訪問等、これまでの生活を大切に支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個々の時間も大切にしながら、ホールで一緒に野菜の皮むき洗濯物等の手伝いをし利用者同士が仲間意識を持ち協働しあえるよう支援をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了時、相談や支援については、これまでと変わらない事をお伝えしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者同士の会話の内容や職員側から働きかけ、思いや意向を把握し生活ケアができるように支援をしている。	日常の利用者間や職員との会話の中から本人の希望を把握し、職員で話し合い、誕生日の献立や畑の夏野菜の種まき等の希望を取り入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴を本人、ご家族から聞き取り職員間で情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のかかわりの中で心身の状態やIADLへの取り組みをし、残存能力を活かせるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族に意向を伺い、カンファレンスで気付いたこと等を意見交換し、できる事を優先し計画が作成されている。	本人・家族の希望を聞き、部署会議等で出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎及び状況変化時にも計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	変化点等記録し、必要に応じてカンファレンスをおこない情報提供し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々のニーズに柔軟に対応できるように、法人内での多職種との協力のなか支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の回覧版での広報誌などから、地域資源を把握しコロナ禍の中で安全を優先し支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族に希望を伺い継続して受診できるよう努めている。母体病院での定期受診を受け、他科受診の指示を受けることもあり、適切な医療が受けられている。	契約時に確認し、全員母体医療機関をかかりつけ医に希望している。月1回の定期受診及び他科受診も職員が対応し、結果を家族に報告している。週1回の外来看護師による健康チェックも実施しており、緊急時は母体医療機関の指示を受けて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>母体病院より週1回の看護師による訪問を受け、相談したり、経過報告書、電話等で情報提供し対応の指示を受け支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、医療機関へ情報提供し退院に向けての情報交換や相談を行い、定期的に面会も行い安心して治療ができるように努め、職員間での情報共有を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重要事項説明書の内容を説明しご家族へここで出来ることを理解頂き、本人ご家族の希望に可能な限り寄り添い主治医、看護師と連携し支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について選択肢も含めて説明し、同意書をもっている。状況変化時に医師から家族に説明し、家族の意向に沿って支援に取り組んでおり、食事が摂れなくなった時点での入院が多い。看取り介護実施の検討をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルに沿った体制もあり、消防署との定期的訓練でAEDの使い方、蘇生方法の受講を受け対応できるよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災は部署内での避難訓練、消防署合同の訓練を定期的に行っている。自動通報装着に、近隣住民の登録もされ協力体制を築いている。水害・地震については法人との協力、連携をとっている。</p>	<p>防災会議で年間計画や職員連絡網の確認をしている。年2回昼夜想定避難訓練を実施し、2回とも消防署の立ち合いを受けている。自動通報装置に近隣住民の登録協力があり、2階居住の職員の協力体制も築いている。非常用の備蓄は、水や缶詰・レトルト食品等の食料の備蓄がある。発電機やカセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日常生活の中で言葉遣いを意識しながら、トイレ、入浴時の際もプライバシーに配慮した対応を心がけている。</p>	<p>接遇研修を実施し、言葉による拘束の事例を通して、学ぶ機会をつくり、日頃から意識するように努めている。難聴者にはホワイトボードも使用している。入室時のノックやケア前の声掛け、入浴の同性介助、排泄失敗時のさり気ない声掛け等、プライバシーや羞恥心にも配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の思いや希望が引き出される様雰囲気や声掛けに配慮し理解力に合わせた説明を行い自己決定出来るよう努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活習慣、過ごし方を尊重し、決まりごとの中でも、その方のペースに沿った生活が出来るよう支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自分なりのおしゃれを楽しんで頂き、本人の意向を伺いながら一緒に準備したり、髭剃り整髪のおしゃれ等も気を付けて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ、食器洗い、トレー拭き等本人の有する力に合わせて手伝いを頂いている。以前のような外食は控えていますが、行事の際は献立に工夫して支援している。	職員の献立で軟食程度に調理して提供している。利用者も個々に応じて下ごしらえや食器洗いなどを一緒にしている。季節の行事食や誕生日のケーキ・好物、イベント時の出前弁当等、食事を楽しみにしてもらえるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を記録し、個々の状態を把握している。管理栄養士の訪問時献立、体重の記録を確認してもらい、補助食品を使用したり栄養バランスの確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯の方は夜間洗浄剤につけて清潔保持に努めている。必要に応じて歯科受診をし、指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンや習慣を把握し、本人の状況に合わせて、自立に向けた支援をしている。	昼夜共自室のトイレでの排泄を基本に、排泄パターンや本人の様子・時間を見て声掛けし支援している。利用者の状況に応じたリハビリパンツやパットを使用している。自立の場合も確認は行っている。状況により夜間はオムツを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品、食物繊維の食品を取り入れ、水分摂取に気をつけ、体操や歩行運動で体を動かし予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の時間は午前中が多い、希望に合わせてシャワー浴、午後からの入浴、本人の希望や体調に合わせて支援をしている。	週3回午前中を基本に入浴を支援しており、時間は希望により柔軟に対応している。本人の希望で同性介助やシャワー浴を実施している。嫌がる場合は無理強いないせず時間や声掛けを工夫し、利用者間で説得する時もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡は短時間で、夕食後は飲み物を飲みながらテレビ視聴され、その後は個々の習慣に合わせて、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情を保管し職員は目を通して、服薬の変更があった場合は情報共有と主治医へ経過報告を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活歴から能力や嗜好に合わせた仕事、職員は感謝の言葉を伝え、喜んで頂いている。気分転換に、庭で過ごす等支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ感染対策で外出自粛をしている。地域のイベントでは、ちんどん屋さんにも駐車場まで訪問して頂いたりし、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍のため外出は控えているが、天候の良い日は近隣の散歩や中庭でお茶・食事をして気分転換を図っている。法人内デイケアに週2~3回参加する機会に花見やドライブをしたり、年2回は墓参りに出掛けている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的に事務所で預っている。少額ではあるが所持されている方もいる。コロナ感染対策として、要望を聞き購入支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話やLINE電話の対応をしている。手紙の届く方には手紙でやり取りができるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースは車椅子使用可能で広く明るい。テーブル、ソファを設置しそれぞれが、くつろぐ事ができる環境にしている。</p>	<p>リビングは広くゆったりとしており、広い廊下との境に仏壇が置かれている。空気清浄機やエアコン・カーテンの遮光で過ごしやすい室内環境に調節されており、換気は窓を開けて行っている。七夕飾りなどの季節の飾りつけをした室内で利用者がくつろげるよう、ソファも置かれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>広い空間に、ソファ、テーブルを配置されており、テレビ視聴や新聞を読んだりと思ひ思いに過ごせるように工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室に安全性も考えながら、トイレ、洗面台、クローゼットが備えてあり、使い慣れた物やご家族の写真等を自由に置いて頂いて、くつろげる空間作りをしている。</p>	<p>居室は明るく換気もでき、トイレや洗面台・クローゼット・ベット・エアコンを施設で設置している。本人は使い慣れた寝具やタンスを持ち込んだり、位牌や写真・身の回りの品を身近に置く等、落ち着いて過ごせる部屋にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリー構造で、手すりも設置され安全に移動できる作りになっている。ベットの高さもち調整可能である。各部屋に表札、浴室には暖簾をかけ、行動や能力を把握しできるだけ自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない